

令和5年度事業計画

令和4年9月、総務省発表の「統計からみた我が国の高齢者」によれば、総人口に占める65歳以上の高齢者の割合(高齢化率)は29.1%で、過去最高となりました。

高齢化率は今後も上昇を続け、新都市においては、令和13(2030)年に37.7%、国においては、令和47(2065)年には38.4%に達して、国民の約2.6人に1人が65歳以上となる社会が到来すると推計されています。

高齢法の施行や継続雇用による高年齢者雇用・就業対策の進展、インボイス制度の導入により、新都市シルバー人材センター(以後「センター」という。)の会員状況や就業環境も急激に変化しています。こうした時代の変化に対応するため、ICTの活用による会員を巻き込んだ業務の効率化などを求められています。

さらに、就業拡大も従来分野を維持しつつも他分野へのシフトをせざるをえない状況もあり、今後の当センターの利用動向や環境変化についても注視していかなければならないと考えています。

しかし、今後も変わることなく私たちシルバー人材センター事業は、会員である高齢者が同世代、次世代、そして地域社会を支えていくこととなると確信しています。

当センターは、昨年度末でここ数年の会員数を回復しましたが、コロナ禍において事業契約実績として請負事業の契約は減少、シルバー派遣事業は伸びを示すここ数年の傾向に変化はありません。

今後も需要が高まる高齢者の福祉・家事援助サービスに対応した事業を積極的に展開するために、会員の増加を重点項目に置き、新規入会キャンペーンを実施し「女性委員会」を中心に、女性向けの各種講習会、教室、イベントを開催することで女性会員を確保して事業の拡大に取り組みます。

また、ここ最近の物価高の会員への影響や令和5年10月より仕入税額控除「インボイス制度」が導入による仕入課税納税額の経費負担の準備の為、事務費率の変更及び配分金単価の見直しを経過措置期間等も考慮して実施します。

さらに、昨年度検討してきた「第4次中期計画」の設定目標を着実に達成していくため、会員への情報提供やコミュニケーションの充実、更なる具体的計画を実施し、関係機関・関係者との一層の連携と会員、役員、職員のセンターが一体となつての事業運営を図ってまいります。会員各位のより一層のご協力・ご支援をお願いいたします。

【事業実施計画】

1 就業機会の確保と組織的提供事業及び会員数の増加(請負、委任)

- ・新たな就労先を開拓するため、公共職業安定所や商工会、行政機関などとの連携を密にして情報収集を図る
- ・剪定、草刈りなどの受注実績データを活用した年間の業務スケジュールを定め、効率的な就業を目指す
- ・会員への迅速で均等な就業機会を提供するため、会員への携帯ショートメッセージ送信サービスを利用し業務の効率化、省力化を実現する
- ・就業機会の拡充に伴い不足するシルバー会員の確保を図るため、「新規会員募集キャンペーン・女性会員募集キャンペーン」、さらに、出張入会説明会も含めた「地区懇談会」を行なう

- ・市からの委託事業として「ボランティアポイント制度」・「訪問介護支援事業」を充実して福祉介護支援事業の拡大及び会員の就業によらない高齢者の能力を生かした活力ある地域貢献活動の充実とともにゴールド会員制を併用し会員の高齢化による退会の抑制を実施する

2 指定管理事業

- ・令和2年度から令和6年度までの5カ年間、いきいきライフの館、鳳来高齢者生きがいセンターの指定管理者として、施設利用者に「使い勝手の良い」、「利用しやすい」施設管理を目指す
- ・指定管理している施設の経年劣化に伴う老朽化対策を、市役所と協議、調整するなかで計画的な施設修繕をおこなうとともに、施設機能の利便性の向上を図る
- ・施設の利用率を高めるため、利用対象者であるシルバー会員はもとより市内の60歳以上の方への利用案内を機関紙等活用してPRする

3 有料職業紹介事業（雇用）

- ・人手不足になっている市内事業者とシルバー会員向けに、有料職業紹介事業への取り組みをPRする
- ・地域の実情に応じた高齢者の多様な就業機会を確保するために公共職業安定所や商工会、行政機関などと連絡を密にした事業展開を図る
- ・人手不足社会に対応した就業機会の拡大を図る

4 労働者派遣事業（派遣）

- ・公共職業安定所や商工会、行政機関などと連携して人手不足となっている事業所の求人情報を収集し、速やかに適切なシルバー派遣会員を確保する
- ・シルバー派遣事業を推進するため、担当職員の養成、確保を図る
- ・複雑化する派遣事務の集約化を図るため、公益社団法人愛知県シルバー人材センター連合会が開始した派遣事務の集中化を受けての新たな就業機会の開発を促進する

5 知識及び技能の付与を目的とした講習会等の実施事業

- ・派遣事業の拡大に伴い、シルバー会員が就労を通して多くの方と接触する機会が増えたこともあり、個人情報保護の意識を高めるための派遣説明会を実施する
- ・草刈機やチェンソーの正しい使用方法を学ぶ講習会を、安全対策の観点からも複数回実施する
- ・「介護支援」、「清掃」など社会生活にも密着した講習会や、「しめ縄作り」、「松の剪定」など幅広い分野の講習会、教室を多数計画する
- ・地域の農業の後押しする「しんしろ援農隊」や高年齢会員の就業を可能とする農業分野への選択肢の一つとしての「農業同好会」の活動を支援するため、市役所、農協等の関係機関の協力を得て、農作物の収穫、剪定等のスキルアップを図る。
- ・国の「デジタル活用支援推進事業（地域連携型）」に応募し、採択後、市役所と連携のもと、スマートフォン講習会を本所、鳳来・作手地区で実施する予定であり、一般の高齢者を含め会員のITC活用を推進し、シルバー人材センターの業務の効率化を図る
- ・県東三河高等技術専門校との連携によるオーダーメイド型「剪定スキルアップ講座」等を行い、剪定班会員の技術向上や就業意識の高揚を図る

6 調査研究事業

- ・センター業務に外部との連携による相乗効果を図り、業務のスキルアップと職員の能力開発につなげるための「業務改善」等を行う
- ・「シルバーまあけっと」開催の為、農業同好会の活動支援及び就業会員の調査募集を図る
- ・未就業会員を対象に実施した「就業希望調査」を今年度も実施し、そのデータを活用し、シルバー会員が求める就業先を提供することで、シルバー会員の満足度を高め退会者の削減につなげる
- ・年間を通して開催する各種講習会、教室の受講者からのアンケート内容を、今後のシルバー事業運営に役立たせる
- ・発注者に対する「就業後の調査」でのご意見を、シルバー会員への指導、事務局の対応の改善に生かす
- ・会員のシルバー人材センターの事業・行事参加や就業拡大等への積極的取り組みに対する「シルバーポイント制度（仮称）」について、他のシルバー人材センターでの利用を参考にし、その導入の検討を総務部会で行う。
- ・専門部会・職員による視察などを行い、先進地センターとの交流による事業活性化を図る

7 相談事業

- ・シルバー人材センター入会希望者への入会説明会を他の事業との連携や定期開催し、説明会後の個人面談で就業希望、要望を聞き取り、きめ細かな入会後の就業相談を実施していく
- ・市民及び企業からの受注依頼などの問い合わせに、シルバー会員（高齢者）に安全及び適正就業の面からふさわしい就業可否による民間事業者を紹介するなどの相談に応じる
- ・新たな行政サービス、行政需要（生活弱者への支援、農業支援、ふるさと納税、空き家対策、生涯現役促進事業・ボランティアポイント制度など）の受け皿として相談にあたる

8 安全・適正就業推進事業

- ・シルバー人材センターの安全・適正就業対策基本計画による今年度事業計画実施事項を確実に進め、安全目標を達成する
- ・草刈安全講習会や会員の健康に関する講座等の開催により安全・適正就業の推進を図る
- ・シルバー安全委員会を定期的開催するとともに、安全委員会による安全適正パトロール巡廻指導を増やして、より細かな安全対策活動の推進に努める
- ・就業事故の原因分析と対策を、機関紙への掲載や定時総会、各種会議の場を活用しシルバー会員に周知し、再発防止に努める
- ・全国シルバー人材センター事業協会や愛知県シルバー人材センター連合会が開催する安全事故防止キャンペーン事業や研修会等に積極参加し、安全就業に反映させる

9 センターの活動等について周知を図る事業

- ・地域の情報誌やケーブルテレビを活用して、シルバー人材センターの活動内容、状況

をアピールする

- ・ホームページを活用して、シルバー人材センターの活動内容やシルバー会員の入会促進に向けた情報発信等を行う

- ・就業機会拡大に向けて地元情報誌などの活用を図る

- ・市役所広報紙「ほのか」への掲載及びシルバー機関紙「頑張らまいかん」・募集チラシの市内新聞折込みでの配布・行政区回覧、市内各施設での配架を実施して、シルバー人材センターの写真などを取り入れた就業紹介や入会の案内を行う

- ・事業部会を中心にコロナ禍において中止を余儀なくされていた「シルバーまつり」の開催や各種イベントについても感染対策を行いながら普及啓発事業を再開する

- ・女性委員会が、シルバー人材センターに興味を持っていただけるような環境づくりのために女性に特化した教室等を実施し、会員確保のため広く市民に周知を行う

- ・広報部会を定期的に開催し、情報発信方法などを随時検討していく

10 その他センターの目的を達成するために必要な事業

- ・新城市から委託事業、介護支援ボランティア事業「しんしろ支え愛ボランティアポイント事業」を実施し、高齢者がボランティア活動を通じて、社会参加、地域貢献を行いながら、自らの健康増進に積極的に取り組み、生き生きとした地域社会をつくる目的として実施する

11 シルバー人材センターの財政基盤の安定を図る

- ・国の政策、方針に沿った事業展開による国庫補助金の確保に努める

- ・インボイス制度の導入や、諸経費の高騰などの社会環境の変動に対応し、一般家庭を除き請負事業に係る事務費率を10%から12パーセントとし、自主財源を確保することでの財政基盤の安定を図り、新城市へ補助金の現状維持を求めている

- ・時代に即応したICTの活用による事業展開を推進し、将来を見据えた無駄をなくした効率的な財政運営に努める

12 公益社団法人の適正な運営

- ・公益社団法人としての適正な事業運営を行う

- ・シルバー人材センターの設立目的に沿った公益事業を推進する

- ・会員、役員と事務局が一体となった活力のある事業運営を図る